

事業番号	01 01 02	事業改善シート（30年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防火対策事業		部局	危機管理部	課・室	消防課
			実施期間	S63～	E-mail	shobo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○県内の消防団員数は、37,091人(H19.4.1)から35,139人(H28.4.1)へと、10年で約2千人(5.3%)減少した。一方、女性消防団員は増加しており、1,050人(H28.4.1)となった。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が平成25年に施行され、国、県においても消防団の充実強化に取り組んでいるところである。</p> <p>○消防団員の減少は、少子高齢化による入団適齢者の減少、及びいわゆるサラリーマン団員の増加(被雇用率は8割超)に伴い、地域における消防力の低下が危惧されている。</p> <p>○各地で発生する地震や豪雨災害などにおいて、消防団の活動が紹介され地域に認識されるたびに、消防団に対する期待や必要性は高まって来ており、さらに消防団員の増加や活動環境の充実を図る必要がある。</p>	30年度 決算額	50,887 千円
			職員数
目指す姿	<p>○消防団の充実・強化による地域防災力の向上を図る。</p> <p>○消防団協力事業所表示制度の普及促進により消防団活動に理解のある事業所(者)を増やす。</p> <p>成果指標:消防団協力事業所表示制度の認定事業所数1,200事業所(H30)</p> <p>○危険物施設に係る保安の確保と消防用設備等の適正な設置及び維持管理を推進する。</p> <p>(主な実施内容:消防団充実強化支援、防火対策、危険物の規制 など)</p>		

事業 コスト	区分(単位:千円)					指標及びその達成状況					
	29年度	30年度	令和元年度	29年度	30年度	令和元年度	No	成果指標	29年度	30年度	達成状況
予 算 額	前年度繰越										
	当初予算	48,720	53,558	50,474			1	信州消防団員応援ショップ数	1,250 店舗	1,300 店舗	1,401 店舗 達成
	補正予算										
	合計(A)	48,720	53,558	50,474							
Aの 財源	一般財源	17,905	21,587	17,995							
	県債						2	協力事業所認定数	1161 事業所	1,200 事業所	1,171 事業所 未達成
	国庫支出金										
	その他	30,815	31,971	32,479							
決 算 額(B)	46,044	50,887									
概 算 人 件 費	職員数(人)	4	4	4							
	概算人件費(C)	32,408	32,872	32,872							
概算事業費(B(A)+C)	78,452	83,759	83,346								
備考						成果指標 設定理由	<p>協力事業所認定数については、しあわせ信州創造プランに定められた目標指標であることから設定</p> <p>信州消防団員応援ショップ数については、長野県内の店舗が消防団に対し有する関心を確認する指標として明確であることから設定</p>				

目標に対する 成果の状況	<p>・従来から、消防団協力事業所の認定を促進するための応援減税制度や入札に関する優遇措置、顕彰を目的とした知事表彰等を実施しているが、一定程度周知が進んだことから協力事業所数の増加は頭打ちとなっている。</p> <p>・信州消防団員応援ショップ事業については、経済団体への説明などを実施し、平成30年度末で1,401店舗の登録を達成できた。</p>
-----------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	消防団員数の減少、消防団員の被雇用者化が進む中で、地域防災の担い手として消防団員の人員確保や充実強化が求められている。	市町村や業界団体への呼びかけや協力事業所に対する優遇措置の周知を進め、消防団を応援する事業所や消防団員にインセンティブを図ることで、消防団の加入促進と充実強化に向け事業を推薦していく。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		消防団充実強化支援事業	消防ポンプ操法等県大会開催、地区大会への支援、県立大学と共同して女性消防団員への加入促進事業等を実施	1.25	5,746	5,741	5,746
2		防火対策管理事業	救急振興財団への負担金の支出と研修への派遣	0.75	11,838	11,774	13,065
3		危険物・消防設備等規制事務事業	危険物取扱者に対する講習会の開催、消防設備士に対する講習会の開催、危険物取扱者及び消防設備士への免状交付の実施	1.00	31,971	29,762	31,156
4		信州消防団員応援ショップ推進事業	消防団を応援するため割引等の特典サービスを行う登録店舗の増加	0.75	333	319	507
5		自治体消防制度70周年記念事業	多くの関係者(約2,000人)の出席を得て、自治体消防制度70周年記念大会を開催	0.25	3,670	3,291	0
合計				4.00	53,558	50,887	50,474

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	防火対策事業				部局	危機管理部	課・室	消防課			
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
1	消防団充実強化支援事業	消防団の充実強化支援	補助金	消防ポンプ操法等県大会開催、地区大会への支援、広報媒体を活用した消防団活動の魅力発信と消防団協力事業所に対する顕彰制度の創設	消防ポンプ操法等県大会開催、地区大会への支援、県立大学と共同して女性消防団員への加入促進事業等を実施	計画通り ○	5,746	5,746	5,746		5,741	
2	防火対策管理事業	(一財)救急振興財団負担金等	直接	(一財)救急振興財団負担金等	救急振興財団への負担金の支出と研修への派遣	計画通り ○	11,827	11,838	11,838		11,774	
3	危険物・消防設備等規制事務事業	危険物取扱者、消防整備士の免状更新・講習	直接	危険物取扱者に対する講習会の開催、消防設備士に対する講習会の開催、危険物取扱者及び消防設備士への免状交付	危険物取扱者に対する講習会の開催、消防設備士に対する講習会の開催、危険物取扱者及び消防設備士への免状交付の実施	計画通り ○	30,815	31,762	31,971		29,762	
4	信州消防団員応援ショップ推進事業	地域の協力に基づく消防団員の支援	直接	消防団を応援するため割引等の特典サービスを行う店舗等を登録し消防団員をサポートする事業の推進	消防団を応援するため割引等の特典サービスを行う登録店舗の増加	計画通り ○	332	333	333		319	
5	自治体消防制度70周年記念事業	地域の協力に基づく消防職員・消防団員の表彰	直接	・自治体消防制度発足70周年を記念し、消防関係者及び県民と本県の消防の発展を振り返るとともに、消防への期待や重要性を再認識しさらなる発展を願う。	多くの関係者（約2,000人）の出席を得て、自治体消防制度70周年記念大会を開催	計画通り ○		4,183	3,670		3,291	
合 計								48,720	53,862	53,558	0	50,887